



【重点取り組み】

「親子のこころの健康を地域で支える健康づくりに取り組みます」

乳幼児期からのより良い家族関係を築くために、親の子どもへの接し方のスキルを高める新たな事業を検討します。また、地域で孤立することなく子育てするために、父親への支援を行うこと、地域住民・関係機関と一緒に地域の特性に合わせた「子育てしやすいまちづくり」を行うことを、地域ごとに実施している地域会議（地域情報交換会等）を中心に推進します。

＜令和4年度実績＞

1. 子育てしやすいまちづくりについて

子ども支援センター・地域子育て支援センターの子育てアドバイザー（保育士）と母子保健課保健師を中心に、地域の現状や特性に合わせた活動をすすめています。

令和4年度の地域情報交換会は対面で実施し、地域ごとに関係機関との情報共有や課題の検討等を行いました。

2. 親の子どもへの接し方のスキルを高める事業について

1歳6か月児歯科健康診査において、厚生労働省の健やか次世代育成総合研究事業で作成された「子どもを健やかに育てるために～愛の鞭ゼロ作戦～」のリーフレットを配布し、育児相談で子育てのアドバイス等を実施しています。

【その他の主な取り組み】

1. 子どもの食育に関する取り組み

「食を通じて子どもの社会性と食の自己管理能力を身につけ、しなやかな身体、豊かなこころを育てます」

本取り組みは「やちよ食育ネットワーク協議会」が行う事業と、妊娠期から継続した食育事業の2本柱で推進しています。

＜令和4年度実績＞

（1）やちよ食育ネットワーク協議会が行う事業

◇食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」の実施

農業生産者と関わりのある食育授業を小学校全校で実施することを目指して、平成24年度より食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」を開始しました。小学3年生を対象に、農業生産者・学級担任・栄養教諭等の連携で授業を実施しています。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施については学校判断とし、小学校及び義務教育学校20校中、18校で授業を実施しました。

・やちよ食育ネットワーク協議会・分科会合同会議の開催

第1回を7月（書面開催）、第2回を1月31日に開催しました。

（2）妊娠期からの継続した食育事業

◇妊娠期・・・プレママ教室（妊娠期の食事について情報提供）

◇乳児期・・・4か月児赤ちゃん広場事業（離乳食開始頃の講話と個別相談）

離乳食教室（離乳食の進め方などの講話、離乳食の見本の展示）



▲小学校での授業の様子。「梨」の枝を用いて生産等について説明する農業生産者

- ◇幼児期・・・子育て応援ポケット事業での食育（相談，リーフレットの配布）
- ◇学童期・・・学童保育所への食育講座（夏休みに資料配布）
公民館等からの依頼（学童期の食事についての講話）

2. 思春期保健ネットワーク会議の取り組み

「思春期の子は自分や他者を大切にし，生と性の課題について適切に対処します」

本取り組みは平成 18 年度に発足した八千代市思春期保健ネットワーク会議を中心に医師，助産師，学校関係者，保護者などのメンバーで推進しています。

<令和 4 年度実績>

(1) 八千代市思春期保健ネットワーク会議の開催

第 1 回を 7 月 5 日，第 2 回を 11 月 22 日に開催しました。

(2) 中学生向けリーフレットの配布

性に関する正しい知識を得られるサイトや相談機関を掲載した「中学生向けリーフレット」を，市立中学 1 年生とその保護者を対象に配布しました。



(3) 思春期保健シンポジウムの開催

テーマ 「子どものためにも知っておくべき性のお話」

講師 八千代市医師会 婦人科医 柳堀 厚 氏

千葉県助産師会習志野八千代鎌ヶ谷地区部会 助産師 鶴岡 利江子 氏

秀明大学看護学部母性看護学准教授 助産師 東 亜紀 氏

開催日 令和 5 年 1 月 22 日（日）